



第42回 毎日こどもピアノコンクール 札幌地区予選 小学校3年生の部



審査員講評

くどう まき こ
工藤真樹子先生 (当番審査員)

小学3年生の皆さん、保護者の方々、講師の皆様、大変お疲れ様でした。皆さん、しっかり準備してこられ、集中力を発揮して日頃の練習の成果を出して下さいました。

全体的な印象では、小学3年生でもステージでの演奏を心得られていて大変レベルが高く、時代や作曲家の個性に合ったテンポや曲想を考え、作品の特徴をよく捉えた演奏が多かったと思います。皆さん良いご指導受けていると感じました。

また、惜しいな、と感じた点もいくつかありましたので改善策と共にお伝えさせて頂きたいとおもいます。

まずテンポに関してです。

弾き出す前にしっかりテンポを確認してから弾き始めなかった為にテンポ迷子になってしまったり、2～3小節目でやっとテンポが定まったり、場面が変わるとテンポも微妙に変わってしまったり、という演奏がありました。これは日頃の習慣として、弾く前には必ずこれから弾く曲の全体像、最初のフレーズのニュアンス、そしてテンポを思い描いてから弾き始めること、そして場面やリズムが変わっても同じ拍感をキープする、身体の中に取り込めるまでいろいろ工夫した練習をする、という事が必要かと思えます。

次に拍子感とフレーズ感です。

4拍子の曲が重たく聴こえる演奏が目立ちました。また6/8が重たい4拍子に聴こえてしまったり。1つ1つきちんと弾くあまり、どこも同じ拍の重さになってしまい、音楽が流れず1小節ずつに聴こえてしまった演奏が少なからずありました。この場合、強拍、中強拍、弱拍の質量の違いを身体や腕、指先で感じることに加え、テンポ設定を少しだけ前向きに変えてみて、2～4小節を一息に弾いてみると、フレーズも大きくまとまり音楽が流れ出します。左手だけで推進力持って弾くということも拍子感とフレーズ感を作るためには大切な練習です。そこに右手が軽やかに乗せられると良いでしょう。

また逆に、速いパッセージやテンポの速い曲で指が先へ先へと流れてしまう場合は、響きが薄くなってしまいますのでホールでは映えませんし、不安定で聴き心地悪くなってしまいます。その場合は1つ1つの音を取りこぼさなくよく耳でキャッチして、良い音質で決して弾き飛ばさない様に弾いてゆく、常に拍感と歌心をもって、というのが習慣化されると良いです。ブレスをきちんと取る事も不可欠です。

これらの事がバランス良く出来て、出ている音をよく聴きながら自分の気持ちを思い切ってアピール出来ていた演奏もあり、そんな演奏はとても素敵でおおいに楽しめました。

未来ある3年生の皆さんはこれまでの一つ一つの経験が必ず次に繋がりますので、是非これからもピアノを楽しんで弾いて、豊かに成長して行ってほしいと思います。

小学校3年生の部

第42回 毎日こどもピアノコンクール
札幌地区予選



並びは演奏順です



高橋 椎

鵜瀬 茉央

山本 灯人

山家 悠愛

羽田 直生

菅原 悠心

津司 来海

岩崎 日花里



土井 心愛

天田 椋礼音

富所 蓮

道下 愛理

小関 菜々美

及川 喜加

兒玉 岳

田村 心咲

神坂 詠

切江 結羽



星川 真翔

佐々木 咲花

太田 貴博

村田 心美

小林 円佳

小川 珠季

舘澤 志歩

宮本 蒼大

金森 和奏

小学校3年生の部

第42回 毎日こどもピアノコンクール
札幌地区予選



並びは演奏順です



近藤悠希

古川楓

蠣崎百佳

横山樺乃

若林夏芽

小椋未来

佐山ふき

濱田織衣

佐藤心奏

安達太晴

鈴木愛ノ介

徳田向葵

松山奈令



中村倫子

田村峻汰郎

濱田結花

長谷部永和

福田大朗

劉源菡

川上紗和

北島さつき

田辺美佳

前田莉衣奈

勝見柚花

大澤春

長澤富結音

小野杏実

結城恋葉

榊原すみれ

櫻澤遥音